

ドキッ!!

病気のサインに
気づいていますか？



呼吸機能検査

の結果経過観察、要医療だった方必読！

こんな病気かもしれませんよ?!

■ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）

COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease）とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。

最大の原因は喫煙であり、タバコの煙を吸入することによって気管支に炎症が起きて咳や痰が出たり、気管支が細くなることによって空気の流れ（気流）が低下して呼吸がうまくできなくなったり、肺胞が破壊されて（＝肺気腫）酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下したりします。

歩行時や階段昇降など、体を動かした時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性の咳や痰が特徴的な症状です。一部の患者さんでは、喘鳴や発作性呼吸困難など喘息の様な症状を合併する場合があります。

■ 間質性肺炎

さまざまな原因から肺胞に炎症や損傷がおこり、壁が厚く硬くなる（線維化）ことによって、ガス交換がうまくできなくなる病気です。

特徴的な症状としては、坂道や階段、平地歩行中や入浴・排便などの日常生活の動作の中で息切れを感じるようになります。季節に関係なく、痰を伴わない空咳で悩まされることもあります。長年かけて次第に進行するため、自覚症状が出るころには病状が進行していることもあります。



まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

裏面へ

こんな検査を行います！

➤ 胸部レントゲン写真

気管や気管支、肺の大きさや形、状態を観察します。肺に含まれる酸素の量によって画像を判別します。また、心臓や縦隔なども併せて観察できます。



➤ 胸部CT検査

気管や気管支、肺を輪切りにした画像を主に観察します。胸部レントゲン写真よりも詳しい情報を取得することができます。

撮影した画像でヴァーチャル気管支鏡画像を作成し、立体的に気管支等を観察することも可能です。



➤ 気管支鏡検査

口や鼻から胃カメラと同様な構造のカメラを気管、気管支に挿入します。内側から観察し、必要であれば組織や細胞、分泌物などを採取することができます。

<監修> 春日井市民病院 呼吸器内科 部長 岩木 舞

肺の病気は、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、気管支喘息などの慢性疾患、急性肺炎、気胸などの急性疾患、悪性胸膜中皮腫などの悪性疾患など様々な病気があります。当院の呼吸器内科では、地域の医療機関と連携を図り、これらの呼吸器疾患に対する精密検査や治療などを積極的に進めています。

かかりつけ医がない場合等は、市民病院をご利用ください。

これらの検査で市民病院へかかる場合は、**呼吸器内科** です。

市民病院を受診する際は、必ず紹介状または健診結果をお持ちください。

紹介状等をお持ちいただいた場合は、選定療養費(※)はかかりません。

また、紹介状等をお持ちの方は、次の方法で診療予約をすることができます。

● 1階総合受付「次回予約」窓口 平日：8:30～16:45

● 予約センター電話 (0568-57-0048) 平日：9:00～15:00

(※) 紹介状等なく受診される場合に、診療費とは別に7,700円のご負担をいただく制度です。



春日井市民病院

Kasugai Municipal Hospital

問い合わせ (代表) 0568-57-0057 発行日 令和5年5月



(呼吸器内科)